

平成24年4月27日
水産庁

水産物の市況について（平成24年4月及び5月）

—東京都中央卸売市場における平成24年4月（平成24年3月21日～4月20日集計）の市況と、
平成24年5月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成24年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べ増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成24年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼・山陰沿岸、サイズは中羽。）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物トキサケがやや増加するものの、冷凍原料、製品ともに前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は減少すると見込まれるものの、需要も落ち気味のため、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（犬吠埼沿岸ではマサバ主体となっている。）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は端境期を脱し、大幅な増加が見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量はやや増加と見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は需要期も過ぎて、減少すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	4 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
24年	46	846	41	831	41	807
前年	50	793	44	806	51	776

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	341	114	62	67
さけ・ます(平均)	602	96	84	98
(ぎんざけ塩蔵品)	652	100	86	97
(あきさけ塩蔵品)	581	91	111	133
(ときさけ塩蔵品)	845	100	115	121
(べにざけ塩蔵品)	884	100	92	98
(さけ類冷凍品)	566	100	83	95
さば(生鮮品)	359	89	89	95
するめいか(平均)	413	90	85	87
(生鮮品)	717	114	106	97
(冷凍品)	365	100	91	106
あじ(生鮮品)	620	110	129	112
まぐろ(冷凍品)	1,429	97	97	103
(めばち冷凍品)	1,020	96	97	107
(きはだ冷凍品)	911	98	95	106
(くろまぐろ冷凍品)	3,915	100	110	112
(みなみまぐろ冷凍品)	2,479	102	110	108
かつお(生鮮品)	1,143	142	100	84

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:4月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成19年~23年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 杉田、庄田、安井
直通 03-3591-5612